

# 医事業務を "大変から安心" に変える リモート医事サービス活用事例



人件費・管理負担・請求ミスを軽減し、診療に集中できる環境を実現

請求業務は月15分！  
医事アウトソーシングで叶える"診療に集中できる"開業スタイル



→ [無料相談はこちら](#)







# 開業医が直面する医事業務の課題

---



クリニックの開業には、診療方針や立地選びだけでなく、診療報酬請求やレセプト点検といった医事業務への対応が欠かせません。特に、医事経験のない医師が最低限のスタッフ人数で開業する場合、業務の習得や運営体制の構築は大きな課題となります。

# 開業医が抱える共通の悩み

-  医事業務の専門知識不足による請求ミスリスク
-  医療事務スタッフの採用・教育・管理コスト
-  月末のレセプト業務による長時間労働
-  返戻・査定対応による診療時間の圧迫
-  スタッフの急な退職や病欠による業務停滞
-  固定費増加による経営圧迫

これらの課題は、特に小規模クリニックや開業直後のクリニックにとって深刻な経営リスクとなります。診療に集中したいという医師本来の願いと、複雑な医事業務の管理という現実のギャップが、多くの開業医を悩ませています。

# リモート医事サービス導入という解決策



先輩クリニックでの実例により、雇用型にない安定性やリスク回避を実現。リモート医事の導入で業務負担・人的リスク低減を目指す。

先輩クリニックでの実例を見ていたこともあり、導入すれば同じように安定した運営ができると確信しました。雇用の場合は人員不足や体調不良によって業務が遅れることがありますが、リモート医事サービスではそうしたリスクがありません。

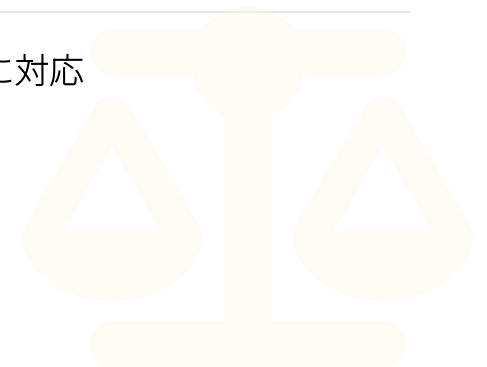
ー ときのクリニック 今井院長

# 従来の雇用型との詳細比較

比較項目	従来の雇用型	ソラストのリモート医事サービス ※訪問まるっとプランの場合
初期コスト	採用費用・教育費用が発生	0円
月額コスト	人件費・社会保険料・賞与等	固定費＋従量課金制の無駄のない設計
業務品質	教育レベルに依存・属人的	専門チームによる高品質保証
業務継続性	退職・病欠リスクあり	専門チーム制による安定稼働
管理負担	勤怠・教育・評価管理が必要	管理業務一切不要
制度対応	制度変更時の再教育が必要	自動的に最新制度に対応

## 決定の決め手となったポイント

- ✓ 開業直後のクリニックでもフルアウトソースが可能
- ✓ 期限内に必要な情報が揃う確実性
- ✓ 確実に業務を進めてくれる安心感
- ✓ 人的リスクの完全回避



# 導入効果：劇的な業務効率化を実現

15分

月間請求業務時間  
(従来：5～6時間)

100%

満足度  
(今井院長評価)

ほぼ0

返戻発生件数  
(大幅削減)

「請求業務のやり方を1mmも知らないまま、今も続けられています。毎月の請求はスプレッドシートで送られてくる内容を確認し、必要に応じてチェックするだけです。作業はおおよそ15分で完了します。」

ー ときのクリニック 今井院長

## 4つの主要効果



請求業務時間の劇的短縮

96% 業務時間削減率 | 1分 返戻対応時間



返戻・査定の大幅削減

電子カルテの簡単修正で素早く対応



ワークライフバランスの改善

診療終了後すぐに帰宅可能に



診療への集中度向上

中断のない環境で医療に専念

# 時系列で見る導入から成果までの変化



## 導入背景

医事知識ゼロの状態から"ひとりでも回せるクリニックの開業"を実現するため、先輩クリニックでの実例を参考にリモート医事サービスの導入を決断しました。



## 導入前の状況

医事業務の知識はほぼゼロ。診療と事務の両立への不安、請求ミスによる経営リスクへの懸念、スタッフ雇用による固定費増加への危惧がありました。



## 導入決定

競合サービスとの比較検討を行い、費用とサービス内容を総合的に判断。先輩クリニックでの成功実例を確認し、同様の安定運営が可能と確信しました。








## 導入初期






開業当初は算定の判断に迷うこともありましたが、Slackでの連絡がスムーズで、必要な質問には必ず返答がありました。算定が難しい症例にも確実に対応できました。



## 運用安定期

# 運用面での安心要素

-  スムーズなコミュニケーション体制
-  スプレッドシートでのやり取りで医師の都合に合わせて作業可能
-  Slackでの連絡で迅速な質問・回答が実現
-  コミュニケーション記録が残り、後から参照・確認が可能
-  診察中の中断がなく、スキマ時間での対応が可能

-  専門性とサポート体制
  -  算定が難しい症例にも確実に対応
  -  制度改正への迅速な対応
  -  開業当初の「分からないからやめておこう」という取りこぼしを回避
  -  医事知識ゼロでも100%安心できる運用体制



# まだ医事業務で悩んでいるの？



「医療事務の雇用で悩んでいる先生には、一度導入を検討してみてください」とお伝えしたいです。導入前は想像できなかったこの効率性と安心感は、実際に使ってこそ分かります。現状維持バイアスを外して考えれば、大きな経営改善の一手になり得ます。

ー ときのクリニック 今井院長

今井院長の事例が示すように、リモート医事サービスは医事知識ゼロからでも安心して導入できる解決策です。人件費、管理負担、請求ミスリスクから解放され、本来の診療業務に集中できる環境を実現できます。



コスト削減



時間短縮



品質向上



安心確保